学科 <専攻>	クリエイトデザイン学科		担当者	小林千尋	
科目名	キャリアプラニング 1		必修•選択	必修	
単位数	1 単位	授業形態	講義	年次	2年
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	MIT普通教室	前•後期	前期
企業連携科目		実務経験	のある教員等による	授業科目	

1. 授業の到達目的と概要

- ◆到達目標 希望する業種・職種で職を得るために、効果的で適正な就職活動を行うべく、実務的な準備(履歴書作成など)とキャリア教育(各種自己分析など)を通じて実践的なレベルを目指す。
- ◆概要 自己分析を通じて自分のゴールを再度確認する。履歴書は自らの歴史と自分自身をPRするものなので、広義のとなる。また、実際の就職活動により密着した自己PRや仮の志望動機も作成してみる。

2. 授業内容 (週単位で記入) 「キャリア」とは、2年間の心構え、卒業生の内定先・就活について、「振り返り」 第1週 ライフライン分析とキャリアパス 第2週 「職業興味と職業適性」 第3週 履歴書作成① 履歴書とは、履歴書左側を記入・作成 第4週 履歴書作成② 履歴書右側を記入・作成 「ジョハリの窓」 第5週 履歴書作成③「エゴグラム」 自己PR作成 第6週 履歴書作成④ 自己PR作成 第7週 履歴書作成⑤ 自己PR作成 第8週 中間テスト 模擬履歴書の作成 第9週 企業研究(求人票を使って)求められる人材とは 第10週 履歴書作成⑥ 仮志望動機の作成 第11调 履歴書作成⑦ 仮志望動機の作成 第12週 履歴書作成⑧ 仮志望動機の作成 第13週

 第14週 	一般教養とSPI		
第15週	一般教養とSPI		
第16週	一般教養とSPI		
第17週	期末テスト 履歴書の作成		
3. 履修上の注意			
筆記用具を持参			
4. 使用教材(テキスト等)			
プリント教材			
5. 単位認定評価	5方法		
評価基準:絶対記	平価OR相対評価		
絶対評価で中間・期末テスト、授業態度、出席状況、課題提出・内容			
6. その他	6. その他		

学科 <専攻>	クリエイトデザイン学科		担当者	清水	
科目名	情報リテラシー 1		必修・選択(注記)	選択必修	
単位数	1単位	授業形態	講義	年次	1
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	普通教室	前•後期	前期
企業連携科目		実務経験	のある教員等による	授業科目	

1. 授業の到達目的と概要

◆到達目標 タッチタイピング、基本的なWindows操作ができる マイクロソフトWordでビジネス文書の作成ができる

各自のスキルに合わせ受験級を設定し、日本情報処理検定協会主催の「ワープロ検定」に合格す

◆概要 ワープロ検定の問題を解きながら、タイピングの基礎、Windows操作、Wordによる文書作成を習得する。10月に個々の習熟度に応じた級の検定を受験する。

2. 授業内容(週単位で記入)
第1週	パソコンおよびWindowsの基本操作およびWiFi・プリンター等の設定確認、習熟度調査 タッチタイピングの基本および日本語文章入力
第2週	タッチタイピングの基本および日本語文章入力 Windows、Wordの基本操作
第3週	日本語文章入力(計測) ワープロ検定3級程度の問題解法
第4週	日本語文章入力(計測) ワープロ検定準2級程度の問題解法(複雑な表)
第5週	日本語文章入力(計測) ワープロ検定2級程度の問題解法(インデント・きりとり線)
第6週	ワープロ検定準2~2級程度の問題演習
第7週	ワープロ検定準2~2級程度の問題演習
第8週	中間試験 ワープロ検定準2級程度の問題
第9週	日本語文章入力(計測) ワープロ検定準1級程度の問題解法
第10週	日本語文章入力(計測) ワープロ検定準1級程度の問題解法(図形描画)
第11週	日本語文章入力(計測) ワープロ検定1級程度の問題解法(図形描画)
第12週	ワープロ検定問題演習 習熟度に応じた級別の個別問題演習
第13週	ワープロ検定問題演習 習熟度に応じた級別の個別問題演習

第14週	ワープロ検定問題演習習熟度に応じた級別の個別問題演習
第15週	ワープロ検定問題演習 習熟度に応じた級別の個別問題演習
第16週	ワープロ検定問題演習習熟度に応じた級別の個別問題演習
第17週	期末試験 (習熟度に応じた級別)

課題が期日までに出せない場合、基準に満たない場合は、単位不認定となる場合がある。 授業に出席していても、私語や居眠りが多い場合はその時間を欠席とみなすことがある。

4. 使用教材(テキスト等)

検定過去問題のプリントなど

5. 単位認定評価方法

評価基準:絶対評価

授業態度20%、中間・期末試験50%、課題・小テスト30%

ただし、課題未提出や出席状況に応じて評価は変動する。

学科 <専攻>	クリエイトデザイン学科		担当者	清水・栗田	
科目名	映像A/クラフト実習A		必修・選択(注記)	選択必修	
単位数	1単位 授業形態		講義	年次	1
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	普通教室	前•後期	後期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	クラフトA)カッティングプロッター、レーザーカッター等を使用して、イメージする作品を制作できるよ				

◆到達目標 クラフトA)カッティングプロッター、レーザーカッター等を使用して、イメージする作品を制作できるようになる。

映像A) AdobeのPremiereとAfter Effectsを利用した作品制作

◆概要

クラフトA)紙、木材などの材料を用いて、用途に合う機械を使用して作品を制作する。企画、試作、改善を繰り返す中で、材質やデータでの設計、機械の使用方法を理解し自身がイメージするものに仕上げていく。映像A)メインは実写撮影から編集・加工・エフェクト追加とする。最終的にYoutubeなどで公開できる短編作品を制作

2. 授業内容 (週単位で記入)

第1週カッティングプロッターの使用方法、設計方法の説明第2週パッケージデザインと展開図第3週角箱

さまざまな形の立方体 第6週

角箱

第5週

各種機械の紹介

さまざまな形の立方体第7週

オリジナルパッケージ制作 第8週

オリジナルパッケージ制作 第9週

オリジナルパッケージ制作 第10週

オリジナルパッケージ制作 第11週

レーザーカッターの使用方法、設計方法の説明 第12週

木製コースターの制作第13週

- ・AdobeAfter Effectsの基本操作
- ・素材を使った編集・書き出し
- ・テキストやYoutubeを利用し たさまざまな表現技法を学ぶ
- ・実写またはアニメーションに After Effectsを合成した作品の制

作

・1分の映像作品企画・提出 絵コンテ必須 CM、MVなど問わない 作品は校内発表のみ

第14週	木製コースターの制作	
第15週	木製コースターの制作	
第16週	木製コースターの制作	
第17週	木製コースターの制作	

課題が期日までに出せない場合、基準に満たない場合は、単位不認定となる場合がある。 授業に出席していても、私語や居眠りが多い場合はその時間を欠席とみなすことがある。

4. 使用教材 (テキスト等)

プリント、Macなど

5. 単位認定評価方法

評価基準:絶対評価

授業態度20%、中間・期末課題50%、小課題30%

ただし、課題未提出や出席状況に応じて評価は変動する。

学科 <専攻>	クリエイトデザイン学科		担当者	栗田	
科目名	ITリテラシー		必修•選択	必修	
単位数	1単位	授業形態	演習	年次	1
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	校内・普通教室	前•後期	前期
企業連携科目	実務経駆		のある教員等による	授業科目	

1. 授業の到達目的と概要

◆到達目標 Macおよび内臓のアプリケーション、ネットワークやメールの設定などPC環境を把握し設定することができる知識を身に付ける

◆概要 講師が準備するレジュメをもとに学習する

2. 授業内容(
第1週	Macの基本操作
第2週	Macの基本操作
第3週	Pagesの基本
第4週	Pagesの基本
第5週	中間試験 Pagesでの指定書類の制作・提出
第6週	Numbersの基本
第7週	Numbersの基本
第8週	Numbersでの指定書類の制作・提出
第9週	Keynoteの基本
第10週	Keynoteの基本
第11週	Keynoteでの指定書類の制作・提出
第12週	GarageBandの基本
第13週	GarageBandの基本

第14週	GarageBandで制作した楽曲の提出
第15週	iMovieの基本
第16週	iMovieの基本
第17週	iMovieで制作した作品の提出
第18週	

特になし

4. 使用教材 (テキスト等)

[学校側で用意するもの]

・レジュメ、板書資料、

[個人で用意するもの]

・ノートパソコン

5. 単位認定評価方法

評価基準:相対評価

制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35%

6. その他

学科 <専攻>	クリエイトデザイン学科		担当者	清水	
科目名	色彩・ラッピング 1		必修・選択(注記)	選択必修	
単位数	1単位	授業形態	講義	年次	1
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	普通教室	前•後期	前期
企業連携科目		実務経験	のある教員等による	授業科目	

1. 授業の到達目的と概要

- ◆到達目標 配色の基本、色がもたらす心理的効果、生活の中での色のもたらす効果などを学び、色のコーディネートの仕方や日常における色の活用方法を理解する。色彩検定3級に合格する。/ ラッピングの基礎からアレンジ方法までを学び、テーマに沿ったラッピングができるようになる。
- ◆概要 色のはたらきや性質、「色」の表し方や混色理論などの基礎知識、色のもたらす心理的効果、カラーコーディネートの基礎を学ぶ。配色(色の組み合わせ)については、主に「PCCS」(色彩体系の一つ)をもとに学んでいく。/ラッピングの基礎とアレンジの方法を学び、さまざまな形のラッピング技術を習得する。

2. 授業内容 (週単位で記入) Macのセットアップ作業 第1週 色のはたらき、光と色(光とは)、光と色(光の性質、眼のしくみ)/ラッピングの基礎 第2週 光と色(眼のしくみ、照明)/ラッピングの基礎 第3週 光と色(混色)/ラッピングの基礎 第4调 色の表示(色の分類と三属性)/ラッピングの基礎 第5週 色の表示(色の分類と三属性)、当色相面と色立体/ラッピングの基礎 第6週 色の表示(PCCS)/ラッピングの基礎 第7週 色の表示(PCCS) PCCSカラーダイヤル作成/ラッピングの基礎 第8週 中間試験 第9週 色彩心理(色の心理的効果)/ラッピングの基礎 色彩心理(色の心理的効果)/ラッピングの基礎 第10週 第11调 色彩心理(色の心理的効果)/ラッピングの基礎 第12週 色彩調和(色相から配色を考える)/ラッピングの基礎 第13週

第14週	色彩調和(色相から配色を考える)/ラッピングのアレンジ
第15週	色彩調和(トーンから配色を考える)/ラッピングのアレンジ
第16週	色彩調和(色相とトーンを組み合わせて配色を考える)/ラッピングのアレンジ
第17週	色彩調和(配色の基本技法)/ラッピングのアレンジ 配色イメージ
第18週	期末試験

課題が期日までに出せない場合、基準に満たない場合は、単位不認定となる場合がある。 授業に出席していても、私語や居眠りが多い場合はその時間を欠席とみなすことがある。

4. 使用教材(テキスト等)

『色彩検定公式テキスト3級編』 新配色カード

12色程度の色鉛筆 はさみ のり

5. 単位認定評価方法

評価基準:絶対評価

授業態度20%、中間・期末試験50%、課題・小テスト30%

ただし、課題未提出や出席状況に応じて評価は変動する。

学科 <専攻>	クリエイトデザイン学科		担当者	清水	
科目名	実務教養 1		必修・選択(注記)	選択必修	
単位数	1単位 授業形態		講義	年次	1
総授業数(予定)	17コマ 授業場所		普通教室	前•後期	前期
企業連携科目		実務経験	のある教員等による	授業科目	

1. 授業の到達目的と概要

◆到達目標 就職活動や企業連携授業において、企業の方とコミュニケーションをとるうえで必要となるビジネス マナーの基礎を身につける。

就職活動(筆記試験)で出題される一般教養・SPIにも慣れる。

◆概要 ビジネスマナーはビジネスシーンで必要となるマナー全般を指し、身だしなみ・言葉遣いなどの基本 マナー、電話対応のマナー、お客様対応のマナー、組織活動におけるマナー、冠婚葬祭のマナーなどが挙げられる。これらビジネスマナーの基礎を学ぶ。 一般教養・SPIの問題解答を行う。

	一般教養・SPIの問題解答を行う。
2. 授業内容(週単位で記入)
第1週	身だしなみとあいさつ
第2週	敬語と話し方の基本
第3週	敬語と話し方の基本
第4週	日常業務の心得
第5週	電話応対のマナー
第6週	電話応対のマナー
第7週	接客&訪問のマナー
第8週	中間試験
第9週	ビジネス文書の基本
第10週	ビジネス文書の基本
第11週	冠婚葬祭のマナー
第12週	一般教養·SPI
第13週	一般教養·SPI

第14週	一般教養·SPI
第15週	一般教養·SPI
第16週	一般教養·SPI
第17週	期末試験

課題が期日までに出せない場合、基準に満たない場合は、単位不認定となる場合がある。 授業に出席していても、私語や居眠りが多い場合はその時間を欠席とみなすことがある。

4. 使用教材 (テキスト等)

プリント配布

5. 単位認定評価方法

評価基準:絶対評価

授業態度20%、中間・期末試験50%、課題・小テスト30%

ただし、課題未提出や出席状況に応じて評価は変動する。

学科 <専攻>	クリエイトデザイン学科 1 年		担当者	常盤井 智美	
科目名	デッサン		必修•選択	必修	
単位数	1単位	授業形態	実習	年次	1
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	5F教室	前•後期	前期
企業連携科目		実務経験	のある教員等による	授業科目	

1. 授業の到達目的と概要

◆到達目標 デッサンの基礎的な知識を学び、繰り返しの練習により「表現力の向上」を目指す、またモチーフをよく観察することによる気付きを大切にし「観る力の向上」を目指す。

◆概要 前期は鉛筆デッサンを中心に据え、基礎的な用具の扱い方や描く上での知識を学び様々な描法を通じて段階的に学び、繰り返し練習することにより表現力の向上を目指します。またモチーフを用いた場合はよく観察し、場合によっては図り棒などの用具を用いて確認をしながら対象の持つ形態や性質などに気付くことのできる観察力の向上を目指し、後期での多様な表現に繋げます。

2. 授業内容(词	週単位で記入)
第1週	・オリエンテーション(鉛筆デッサンの基本的な説明) 用具の使い方(鉛筆、練りゴム、図り棒、など)、ハッチングとグラデーションの練習
第2週	・ハッチングとグラデーション練習 鉛筆の種類ごとにグラデーションをし濃さだけでなく質感の違いを確認する
第3週	・ハッチングとグラデーションを完成させる(授業前半) ・各々「テーマを持ち手のデッサン」をする(現在の表現力の確認)
第4週	・「テーマを持ち手のデッサン」完成させる 注意点 画面を大きく使う(実物より大きく描く)、テーマに合わせたタッチに心がける
第5週	・パース(透視図)を学ぶ 2点透視図を学び、例に沿って描き透視図を理解する
第6週	・パース(透視図)を学ぶ 2点透視図で角柱を描きハッチングで陰影をつける(時間があれば正円を描く練習)
第7週	・パース(透視図)を学ぶ 透視図で円柱を描きハッチングで陰影をつける
第8週	・実際にモチーフ(角柱・円柱)を自由にレイアウトしパースを意識しながら描く 画面に対してはみ出ない程度に大きく描くこと 実際の陰影をハッチングでつける(机上の影も描くこと)
第9週 第9週	
第10週	・実際にモチーフ(角柱・円柱)を自由にレイアウトしパースを意識しながら描く
第11週	- 画面に対してはみ出ない程度に大きく描くこと 実際の陰影をハッチングでつける(机上の影も描くこと)
第12週	・木材や瓶または缶と果物などを構図を意識しながら自由にレイアウトし描く 構図について簡単に説明します
第13週	構図に 30・で間単に説明しより 陰影をハッチングで描きます 作品として作成します 完成後淡彩で彩色します

】 第14週	・淡彩による彩色講評会を行います
第15週	・ハッチング以外の表現方法を学ぶ 最初は鉛筆で、後半にサインペンによる点描練習
第16週	・サインペンを用い点描でデッサンする モチーフを点描で表現する 点の多寡で陰影を表現する
第17週	

鉛筆デッサンにかかわる画材は毎回必ず持参してください。その他必要のある画材はその都度連絡をします。

デッサンは集中力を持続し「観察をし表現する」ことの繰り返しが重要です、粘り強くコツコツと取り組

4. 使用教材 (テキスト等)

配布教材:鉛筆(H、HB、2B、4B)、練り消しゴム、スケッチブック(毎回持参) そのほか、必要となる画材は事前に連絡します。

5. 単位認定評価方法

評価基準:絶対評価OR相対評価

制作物提出及び課題に関する評価70%、授業に向かう姿勢15%、出席状況15%

6. その他

高校美術教諭免許あり

専門学校未来ビジネスカレッジ シラバス

学科コード C1

学科 <専攻>	クリエイトデザイン学科		担当者	栗田/溝口		
科目名	アート・デザイン概論		必修•選択	必修		
単位数	2単位	授業形態	講義・演習	年次	1	
総授業数(予定)	34コマ	授業場所	校内・普通教室	前•後期	前期	
企業連携科目	なし 実務経験のある教員等による授業科目 〇					
1. 授業の到達目						
◆到達目標	選び、色選び、言葉 前期修了作品:オリ	の作り方、ビジュアんジナル欧文フォント	ル表現の習得を目指 制作	にます 。	、状況にあった文字	
◆概要	ることが出来ます。こ要となるバランス感	この科目では問題解	ルを守り適切な答え 決のための基礎とな トレーニングを繰り込	る知識や、後期から	様々な問題を解決すら行うDTPの際に必	
2. 授業内容()	周単位で記入)					
第1週	職業講話 プロフィールコラーシ	ジュ 導入				
第2週	色のイメージ効果① プロフィールコラージ					
第3週	色のイメージ効果②・色彩基礎 プロフィールコラージュ					
第4週	色相環 書体基礎①					
第5週	色相環+COLORS IMAGES 和文フォント+フォントで名刺ws					
第6週	COLORS IMAGES フォントで名刺ws					
第7週	COLORS IMAGES+色設計 フォントで名刺ws					
第8週	色設計 書体基礎②導入·T	rajan				
第9週	キャッチコピー 書体基礎③ローマン体					
第10週	キャッチコピー 書体基礎④ 銅板・手描き風・ブラックレター					
第11週	キャッチコピー 書体基礎⑤ゴシック・フォント名テスト・書体基礎⑥変わり種書体 オリジナル欧文書体考案					
第12週	キャッチコピー オリジナル欧文書体考案					
第13週	オリジナル欧文書体	*考案·決定				

第14週	オリジナル欧文トレス
第15週	オリジナル欧文トレス
第16週	オリジナル欧文トレス
第17週	オリジナル欧文トレス提出

コラージュ用素材準備など事前に個人的に素材を用意する必要がある。 アイディア出しや宿題などが発生するため授業時間外に課題を行う必要がある。

4. 使用教材(テキスト等)

[学校側で用意するもの]

- ・作品台紙用ケント紙 ・CMYW+Kアクリル絵の具 ・名刺WS用紙 ・オリジナル欧文フォント用紙(はがきサイズ) [個人で用意するもの]

・ノートパソコン ・コラージュ素材(雑誌・新聞・フリーペーパー・他)
・絵の見せいと(等や等法いたど小中草で使用したものでも可)・サインペン(果 大め・細め)・空根
5. 単位認定評価方法

評価基準:相対評価

制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35%

6. その他

デザイン事務所でざいんと(http://designto.info/)代表 実務経験よりデザインの基礎を事例などを活用し教授する。

学科 <専攻>	クリエイトデザイン学科		担当者	栗田	
科目名	ネットワークリテラシー		必修•選択	必修	
単位数	2単位	授業形態	演習	年次	1
総授業数(予定)	34コマ 授業場所		校内・普通教室	前•後期 前期	
企業連携科目		実務経験のある教員等による授業科目			

1. 授業の到達目的と概要

◆到達目標 メディアリテラシーとインターネットを理解するための基礎知識に加え、インターネットを中心とした ICTやIoTを安全に使うことができるような情報モラル、コミュニケーションとメディア、情報セキュリティ、著作権について詳しく身につける。またHTMLとCSSの基礎をテキストを使用しながら学んでい ✓

◆概要 【前半】毎時間配布するプリントに回答していき、一定時間でミニテストや中間試験を実施する。 【後半】HTMLとCSSについてテキストを基準にホームページ制作を行っていく

2. 授業内容(週単位で記入)
第1週	Macのセッティング作業
第2週	メディアリテラシー例題80問 解答・解説
第3週	C1 メディアを理解するための基礎
第4週	C2 インターネットを理解するための基礎知識
第5週	C3 情報モラル
第6週	C4 コミュニケーションとメディア
第7週	C5 情報セキュリティ
第8週	C6 著作権
第9週	中間試験週 リテラシーに関する知識テスト
第10週	HTML+CSS標準入門 L1 Webデザインのいま
第11週	HTML+CSS標準入門 L2 Webサイトを制作する準備
第12週	HTML+CSS標準入門 L3 HTMLとCSSの基礎
第13週	HTML+CSS標準入門 L3 HTMLとCSSの基礎+L4 HTMLとCSSの応用

第14週	HTML+CSS標準入門 L4 HTMLとCSSの応用
第15週	HTML+CSS標準入門 L5 シンプルなWebページをつくる
第16週	HTML+CSS標準入門 L6 シングルページのサイトを作る
第17週	期末試験週 L6で仕上げたページをオリジナル編集し、作品として提出
第18週	

・前半は試験、後半は作品提出での成績評価とします。

4. 使用教材 (テキスト等)

[学校側で用意するもの]

・レジュメ、板書資料、

[個人で用意するもの]

・ノートパソコン、配布されたテキスト

5. 単位認定評価方法

評価基準:相対評価

制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35%

6. その他

学科コード

学科 <專攻>	クリエイトデザイン学科		担当者	清水	
科目名	デザインツール		必修•選択	選択必修	
単位数	4単位	授業形態	演習	年次	1
総授業数(予定)	70コマ	授業場所	普通教室	前•後期	前期
企業連携科目		実務経験	のある教員等による	授業科目	

1. 授業の到達目的と概要

- ◆到達目標 IllustratorとPhotoshopの基本操作を学び、Illustratorクリエイター能力認定試験とPhotoshopクリエイター能力認定試験の検定合格を目指す。
- ◆概要 テキストや検定過去問題をもとにそれぞれのアプリの基本操作を学ぶ。基本操作を習得後は検定対策を行う。

2. 授業内容(
第1週	Macのセットアップ作業
第2週	photoshop 基本操作
第3週	photoshop 写真補正の基本
第4週	photoshop 写真補正の応用
第5週	photoshop テキストやオブジェクトの加工・写真や文字の合成・2021新機能
第6週	photoshop 検定対策
第7週	photoshop 検定対策
第8週	photoshop 検定対策
第9週	photoshop 検定対策
第10週	Photoshopクリエイター能力認定試験 受験
第11週	Illustrator 基本操作
第12週	Illustrator 基本操作
第13週	Illustrator 基本操作

】 第14週	Illustrator 基本操作
第15週	Illustrator 検定対策
第16週	Illustrator 検定対策
第17週	Illustrator 検定対策
第18週	Illustratorクリエイター能力認定試験 受験

課題が期日までに出せない場合、基準に満たない場合は、単位不認定となる場合がある。 授業に出席していても、私語や居眠りが多い場合はその時間を欠席とみなすことがある。

4. 使用教材(テキスト等)

『初心者からちゃんとしたプロになるPhotoshop基礎入門』/『Photoshopクリエイター能力認定試験問題集』

5. 単位認定評価方法

評価基準:絶対評価

授業態度20%、III検定合格30%、Photo検定合格30%、課題20%ただし、課題未提出や出席状況に応じて評価は変動する。

6. その他

重門	学校未来	ビジネ	スカレ	ッジ	シラバ	ヾス

学科コード

学科 <專攻>	クリエイトデザイ	ン学科	担当者	小林千尋	
科目名	キャリアプラニン	グ 2	必修•選択	必修	
単位数	1 単位 授業形態		講義	年次	1年
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	MIT普通教室	前•後期	後期
企業連携科目		実務経験のある教員等による授業科目			

1. 授業の到達目的と概要

- ◆到達目標 キャリアプラニング1をベースに、就職活動をより円滑に進めるための実務の実践的レベルを目指す。
- ◆概要 面接と電話応対を中心に、求人票の見方や企業情報の収集にも力を入れる。送付状や封筒の記入など実践直前の内容となる。

2. 授業内容(
第1週	ビジネスマナーと面接について
第2週	面接練習①
第3週	面接練習②
第4週	面接練習③
第5週	電話応対①
第6週	電話応対②
第7週	電話応対③
第8週	リクナビ登録と就活講座
第9週	中間テスト 一般教養とSPI
第10週	リクルートスタイル講習会
第11週	就活用写真撮影
第12週	企業情報収集とビジネスマナー
第13週	就職ラリー準備

第14週	送付状、お礼状、封筒の記入①
第15週	送付状、お礼状、封筒の記入②
第16週	求職票の作成
第17週	期末テスト 求職票の作成(清書)

筆記用具を持参

4. 使用教材(テキスト等)

プリント教材

5. 単位認定評価方法

評価基準:絶対評価OR相対評価

絶対評価で中間・期末テスト、授業態度、出席状況、課題提出・内容

6. その他

「リクナビ登録・就活講座」、「リクルートスタイル講習会」、「就活写真撮影」は外部との調整上、スケジュールが前後したり、その影響で他のスケジュールが動く場合があります。

学科 <専攻>	クリエイトデザイン学科		担当者	清水	
科目名	情報リテラシー2		必修・選択(注記)	選択必修	
単位数	1単位	授業形態	講義	年次	1
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	普通教室	前•後期	後期
企業連携科目		実務経験のある教員等による授業科目			

1. 授業の到達目的と概要

◆到達目標 マイクロソフトExcelでビジネス資料の作成ができる

各自のスキルに合わせ受験級を設定し、日本情報処理検定協会主催の「情報処理検定(表計算)」に合格する

◆概要 表計算検定の問題を解きながら、効率的なデータ入力、ワークシート編集、関数を利用した計算式 の入力、グラフ作成等について習得する。2月に個々の習熟度に応じた級の検定を受験する。

2. 授業内容(週単位で記入) 第1週 Excel基本操作 第2週 関数を使った計算式、グラフ 第3週 表計算検定3級の問題解法問題演習 第5週 問題演習 第6週 問題演習 第7週 表計算検定2級の問題解法 第8週 問題演習 第9週 問題演習 第10週 表計算検定1級の問題解法		
第1週 関数を使った計算式 第3週 関数を使った計算式、グラフ 第3週 表計算検定3級の問題解法問題演習 第5週 問題演習 第6週 問題演習 第8週 問題演習 第9週 問題演習 第10週 問題演習 表計算検定1級の問題解法	2. 授業内容(週単位で記入)
第3週 関数を使った計算式、グラフ 第3週 素計算検定3級の問題解法 問題演習 第5週 問題演習 第6週 問題演習 第6週 問題演習 第7週 間題演習 第10週 問題演習 第10週 問題 演習 第10週 問題 第10週 問題 演習 第10週 問題 第10週	第1週	Excel基本操作
 第3週 表計算検定3級の問題解法 問題演習 第6週 問題演習 第7週 表計算検定2級の問題解法 第3週 問題演習 第9週 問題演習 第10週 問題演習 表計算検定1級の問題解法 	第2週	関数を使った計算式
 第4週 問題演習 第5週 問題演習 第6週 表計算検定2級の問題解法 第7週 問題演習 第8週 問題演習 第9週 問題演習 第10週 問題演習 表計算検定1級の問題解法 	第3週	関数を使った計算式、グラフ
 第5週 第6週 市超演習 第8週 市超演習 第9週 市超演習 第10週 表計算検定1級の問題解法 	第4週	問題演習
 第6週 表計算検定2級の問題解法 第8週 問題演習 第9週 問題演習 第10週 表計算検定1級の問題解法 	第5週	
第7週 第8週 問題演習 第9週 問題演習 第10週 問題演習 表計算検定1級の問題解法	第6週	問題演習
第8週 第9週 問題演習 第10週 表計算検定1級の問題解法	第7週	
第9週 問題演習 第10週 表計算検定1級の問題解法	第8週	
第10週 表計算検定1級の問題解法	第9週	
表計算検定1級の問題解法	第10週	問題演習
	第11週	
各級問題演習 第12週	第12週	
第13週 第13週	第13週	各級問題演習

第14週	各級問題演習
第15週	各級問題演習
第16週	各級問題演習
第17週	検定受験(期末試験)

課題が期日までに出せない場合、基準に満たない場合は、単位不認定となる場合がある。 授業に出席していても、私語や居眠りが多い場合はその時間を欠席とみなすことがある。

4. 使用教材(テキスト等)

検定過去問題のプリントなど

5. 単位認定評価方法

評価基準:絶対評価

授業態度20%、中間・期末試験50%、課題・小テスト30%

ただし、課題未提出や出席状況に応じて評価は変動する。

学科 <専攻>	クリエイトデザイ	ン学科	担当者	清水	
科目名	色彩・ラッピング 2		必修・選択(注記)	選択必修	
単位数	1単位	授業形態	講義・演習	年次	2
総授業数(予定)	18コマ	授業場所	普通教室	前•後期	後期
企業連携科目		実務経験のある教員等による授業科目			

1. 授業の到達目的と概要

◆到達目標 配色の基本、色がもたらす心理的効果、生活の中での色のもたらす効果などを学び、色のコーディネートの仕方や日常における色の活用方法を理解する。色彩検定3級に合格する。 /テーマに合うボトル、ジャム瓶、立方体、直方体の4種のラッピングの方法と調和を考え、ラッピングする。

	ノ ノ 、 「に泊った 自我版 ライン カー ノンフト く ファビン ク の カル かに ア し 。
2. 授業内容(週単位で記入)
第1週	ファッションと色彩
第2週	ファッションと色彩
第3週	インテリアと色彩・色名 過去問解答・解説
第4週	過去問解答・解説
第5週	過去問解答·解説
第6週	過去問解答·解説
第7週	過去問解答·解説 期末試験
第8週	本試験答え合わせと解答解説
第9週	期末課題(ラッピング)
第10週	期末課題(ラッピング)
第11週	期末課題(ラッピング)
第12週	期末課題(ラッピング)
第13週	期末課題(ラッピング)

第14週	期末課題(ラッピング)
第15週	期末課題(ラッピング)
第16週	期末課題(ラッピング)
第17週	期末課題(ラッピング)
第18週	期末課題(ラッピング)

課題が期日までに出せない場合、基準に満たない場合は、単位不認定となる場合がある。 授業に出席していても、私語や居眠りが多い場合はその時間を欠席とみなすことがある。

4. 使用教材 (テキスト等)

『A・F・T色彩検定公式テキスト3級編』 新配色カード

12色程度の色鉛筆 はさみ のり

5. 単位認定評価方法

評価基準:絶対評価

授業態度20%、中間・期末試験50%、課題・小テスト30%

ただし、課題未提出や出席状況に応じて評価は変動する。

期末試験の得点が低くD評価だった場合、本試験合格で単位認定する。

学科 <専攻>	クリエイトデザイン学科		担当者	栗田	
科目名	プロフェッショナル		必修・選択(注記)	選択必修	
単位数	1単位	授業形態	講義・演習	年次	1
総授業数(予定)	17コマ 授業場所		普通教室	前•後期	後期
企業連携科目	0	実務経験	のある教員等による	授業科目	

1. 授業の到達目的と概要

- ◆到達目標 プロの技術者の方から現場の話を聞くことにより、見聞を広める
- ◆概要 県内の業界第一線で活躍されるプロの方を非常勤講師でお招きし、こだわり・信念・どうやって仕事 にしているかなどを直接講義、演習いただく

2. 授業内容(過	型単位で記入) サインともみ様(看板作りについて)
	サインともみ様(看板作りについて)
第1週	
第2週	サインともみ様(看板作りについて)
第3週	サインともみ様(看板作りについて)
第4週	サインともみ様(看板作りについて)
第5週	AkaneBonBon様(貼り箱制作)
第6週	AkaneBonBon様(貼り箱制作)
第7週	AkaneBonBon様(貼り箱制作)
第8週	AkaneBonBon様(貼り箱制作)
第9週	中間試験週
第10週	玉木美企子様(コピーライティングについて)
第11週	玉木美企子様(コピーライティングについて)
第12週	玉木美企子様(コピーライティングについて)
第13週	玉木美企子様(コピーライティングについて)

第14週	藤原印刷様(インクについて)
第15週	藤原印刷様(会社について)
第16週	藤原印刷様(画像補正について)
第17週	藤原印刷様(製本について)
第18週	

プロの講師の方は都度、変更の可能性がある。

4. 使用教材 (テキスト等)

特になし

5. 単位認定評価方法

評価基準:絶対評価

授業態度20%、中間・期末試験50%、課題・小テスト30%

ただし、課題未提出や出席状況に応じて評価は変動する。

期末試験の得点が低くD評価だった場合、本試験合格で単位認定する。

学科 <専攻>	クリエイトデザイン学科		担当者	清水	
科目名	実務教養 2		必修・選択(注記)	選択必修	
単位数	1単位	授業形態	講義	年次	1
総授業数(予定)	17コマ 授業場所		普通教室	前•後期	後期
企業連携科目		実務経験	のある教員等による	授業科目	

1. 授業の到達目的と概要

◆到達目標 漢字検定の合格を目指し、検定対策授業を行う。

検定保持級がある場合は上位級を目指し、初めて受験する場合でも3級以上を目標とする。

◆概要模擬問題で受験級を決めた後、問題集を解答し、ミスの修正と漢字練習を繰り返していく中で正答率を上げていく。試験は1月末に受験する。試験実施後は、手書きによる履歴書、ビジネス文書等の書き方練習を行う。

2. 授業内容(過	
第1週 第1週	3級の模擬問題を解答、自己採点 他の級の模擬問題を参考にしながら受験級検討
第2週	目標受験級の模擬問題を解答、自己採点 受験級決定
第3週	模擬問題、過去問題解答、書き取り練習
第4週	模擬問題、過去問題解答、書き取り練習
第5週	模擬問題、過去問題解答、書き取り練習
第6週	模擬問題、過去問題解答、書き取り練習
第7週	模擬問題、過去問題解答、書き取り練習
第8週	模擬問題、過去問題解答、書き取り練習
第9週	模擬問題、過去問題解答、書き取り練習
第10週	模擬問題、過去問題解答、書き取り練習
第11週	模擬問題、過去問題解答、書き取り練習
第12週	模擬問題、過去問題解答、書き取り練習
第13週	検定受験(期末試験を兼ねる)

第14週	手書き文字の基本のおさらい
第15週	就職活動で作成する書類の書き方練習
第16週	就職活動で作成する書類の書き方練習
第17週	期末課題(履歴書、封筒宛先の書き方)

課題が期日までに出せない場合、基準に満たない場合は、単位不認定となる場合がある。 授業に出席していても、私語や居眠りが多い場合はその時間を欠席とみなすことがある。

4. 使用教材(テキスト等)

プリント配布、書き取り練習用のノート(白文帳)を用意すること

5. 単位認定評価方法

評価基準:絶対評価

授業態度20%、中間・期末試験50%、課題・小テスト30%

ただし、課題未提出や出席状況に応じて評価は変動する。

学科 <専攻>	クリエイトデザイン学科 1 年		担当者	常盤井 智美	
科目名	デッサン		必修•選択	必修	
単位数	1単位	授業形態	実習	年次	1
総授業数(予定)	17コマ 授業場所		503教室	前•後期	後期
企業連携科目	実務経駅		のある教員等による	授業科目	

1. 授業の到達目的と概要

◆到達目標

前期で学んだ基礎の定着を目指し、繰り返しの練習により「表現力の向上」を目指す、またモチーフをよく観察することによる気付きを大切にし「観る力の向上」を目指します。またデッサンと共に様々な技法を用い応用力を身に着けます。

◆概要

前期で学んだハッチングやパースなどを踏まえ基礎デッサンを繰り返しながら、淡彩や垂らしこみ等のさまざまな絵画技法を取り入れ作品作りをします。

鉛筆が基本となりますが色鉛筆やペンなど多様な描画材で表現の幅を広げたいと思います。最終的には構図を学び、構図を意識したデッサンを行い一年間のまとめとする。

2. 授業内容(過	選単位で記入)	
第1週		
第2週	・前期の復習(パース及びハッチング) モチーフを自分なりに構成して描く、今回は背景もハッチングとグラデーションを意識して描く。	
第3週		
第4週	・パースを意識したモチーフと自然のモチーフを組み合わせ鉛筆デッサンする。のちに色鉛筆で彩	
第5週	とするため描き込みすぎないようにする。	
第6週	・異なる描画材の使用 第5週の作品に色鉛筆で彩色する。時間があれば背景も描く。	
第7週	・質感を学ぶ(ガラス) ガラス瓶やコップなどガラス製品を描く、ガラス特有の光をよく観察し表現する	
第8週	・質感を学ぶ(金属) 金属製品を描く、金属特有の光の反射をよく観察し表現する	
第9週	・質感を学ぶ(布) 布製品の柔らかさを鉛筆を使い分けながら表現する。	
第10週	・実際に多様な素材のモチーフ(ガラス・金属・布など)を自由にレイアウトしパースを意識しながら描	
第11週	く 画面に対してはみ出ない程度に大きく描くこと	
第12週	実際の陰影をハッチングでつける(机上の影も描くこと)	

第13週	・地塗りの効果について学ぶ 実際にマーカーや色鉛筆、絵の具などで地塗りをする		
第14週	•構図を学ぶ、モチーフを構図を意識しながら配置する		
第15週	・第19週で作成した地洋加両面に樺図を音楽しながらデッサンオス		
第16週	・第13週で作成した地塗り画面に構図を意識しながらデッサンする 仕上げとしてハイライト部分に白絵の具を入れる 一年間のまとめとして仕上げ、講評会を行う。		
第17週			

鉛筆デッサンにかかわる画材は毎回必ず持参してください。その他必要のある画材はその都度連絡をします。 デッサンは集中力を持続し「観察をし表現する」ことの繰り返しが重要です、粘り強くコツコツと取り組む真摯な姿が必要です。

4. 使用教材(テキスト等)

配布教材:鉛筆(H、HB、2B、4B)、練り消しゴム、スケッチブック(毎回持参) そのほか、必要となる画材は事前に連絡します。

5. 単位認定評価方法

評価基準:絶対評価OR相対評価

制作物提出及び課題に関する評価70%、授業に向かう姿勢15%、出席状況15%

6. その他

高校美術教諭免許あり

学科 <専攻>	クリエイトデザイン学科		担当者	清水・栗田	
科目名	映像B/クラフト実習B		必修・選択(注記)	選択必修	
単位数	1単位	授業形態	講義	年次	1
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	普通教室	前•後期	後期
企業連携科目		実務経験	のある教員等による	授業科目	

1. 授業の到達目的と概要

◆到達目標 クラフトB)カッティングプロッター、レーザーカッター等を使用して、イメージする作品を制作できるようになる。

映像B) Adobe Animateを利用したコンテンツ制作

品を素を

◆概要

クラフトB)レジンの基本的な制作方法を学ぶ。中間課題・期末課題に関しては、自分の作りたい作品を素材選びから行い、カッティングプロッターやレーザーカッターを用いて仕上げていく。映像B)アクションスクリプトを理解し、Webコンテンツで双方向性のあるコンテンツ作りを目指す

2. 授業内容 (週単位で記入)

 第1週	レジンの基本
क्रास्ट	
第2週	レジン作品制作
第3週	レジン作品制作
第4週	中間課題(クリスマスオーナメント制作)
第5週	中間課題(クリスマスオーナメント制作)
第6週	中間課題(クリスマスオーナメント制作)
第7週	中間課題(クリスマスオーナメント制作)
第8週	中間課題(クリスマスオーナメント制作)
第9週	中間課題(クリスマスオーナメント制作)
第10週	期末課題(モビール制作)
第11週	期末課題(モビール制作)
第12週	期末課題(モビール制作)
第13週	期末課題(モビール制作)

Adobe Animateの基礎

- ・アニメーション基礎
- ・ボタンアニメーション
- 電子紙芝居制作
- ・分岐型ゲームの制作
- ・Webコンテンツ制作
- ・謎ときWeb コンテンツ制作

期末で提出

第14週	期末課題(モビール制作)	
第15週	期末課題(モビール制作)	
第16週	期末課題(モビール制作)	
第17週	期末課題(モビール制作)	

課題が期日までに出せない場合、基準に満たない場合は、単位不認定となる場合がある。 授業に出席していても、私語や居眠りが多い場合はその時間を欠席とみなすことがある。

4. 使用教材 (テキスト等)

プリント、Macなど

5. 単位認定評価方法

評価基準:絶対評価

授業態度20%、中間·期末課題50%、小課題30%

ただし、課題未提出や出席状況に応じて評価は変動する。

6. その他

作品制作に関しては、素材によっては実費となる場合もある。

学科コード

専門学校未来ビジネスカレッジ シラバス				学科コード	
学科 <専攻>	クリエイトデザイ: コミックイラスト		担当者	森 未知子	
科目名	カラーイラスト演習		必修·選択	必修	
単位数	2単位	授業形態	演習	年次	1
総授業数(予定)	34コマ	授業場所	校内・普通教室	前•後期	後期
企業連携科目	実務経験		のある教員等による授業科目		
1. 授業の到達目 ◆到達目標	的と概要 イラストレーションの基礎としてカラー画材の技術習得は必要不可欠なものとなる。画力向上の基 礎練習を行いつつ、色鉛筆・水彩絵の具・コピック等身近にアナログ画材を使ってのイラスト演習を 基礎から段階的に進め、画材を使用したイラストの表現力・技術力(タッチ、陰影、立体感等)を高め る。 アナログ画材の使用をメインに行う。画力の基礎的な技術習得を目指すため授業の開始10分程度				
◆概要	は毎回必ず人物クロいて段階的に行って	コッキーを行う。人物 いく。中間課題では	表現・背景表現の網	でである。 習やタッチの練習等 沿ったシーンのイラ	をカラー画材を用
2. 授業内容 (週単位で記入)					
第1週	クロッキー(以降毎回 基礎練習(人物・背景		:適する用紙・道具に :)	こついて、各自使用値	可材の確認
第2週	基礎練習(人物・背)	景表現/カラ一基本	;)		
第3週	基礎練習(人物・背)	景表現/カラー基本	:)		
第4週	基礎練習(人物・背)	景表現/カラー基本	;)		
第5週	基礎練習(人物・背)	景表現/カラー基本	:)		
第6週	中間課題(指定スト	ーリーのカラーイラス	くト制作)		
第7週	中間課題(指定スト	ーリーのカラーイラス	くト制作)		
第8週	中間課題(指定スト	ーリーのカラーイラス	くト制作)		
第9週	中間課題(指定スト	ーリーのカラーイラス	スト制作)/提出		
第10週	基礎練習(指定した	タッチでのカラー練習	필)		
第11週	基礎練習(指定した	タッチでのカラー練習	望)		

基礎練習(指定したタッチでのカラー練習)

基礎練習(指定したタッチでのカラー練習)

第12週

第13週

第14週 第14週	最終課題(架空CDジャケットのパッケージイラストもしくはライトノベルの表紙イラスト制作)
第15週	最終課題(架空CDジャケットのパッケージイラストもしくはライトノベルの表紙イラスト制作)
第16週	最終課題(架空CDジャケットのパッケージイラストもしくはライトノベルの表紙イラスト制作)
第17週	最終課題(架空CDジャケットのパッケージイラストもしくはライトノベルの表紙イラスト制作)/提出

アナログ画材の使用を基本とする。使用画材は各自で準備することが望ましい。普段より使用している画材があればそれで構わない。

連絡事項はきちんと聞くこと。

4. 使用教材(テキスト等)

クロッキー帳・鉛筆/アナログ画材(各自持ち寄り/色鉛筆・水彩絵の具・コピック等/色鉛筆なら24色以上が望ましい)

5. 単位認定評価方法

評価基準:絶対評価

制作物提出及び課題に関する評価70%、遅刻欠席に関する評価15%、授業態度に関する評価15%

6. その他

フリーランスでイラストレーターとして活動中

学科 <専攻>	クリエイトデザイン学科		担当者	溝口	
科目名	広告表現		必修•選択	必修	
単位数	2単位	授業形態	演習	年次	1
総授業数(予定)	34コマ	授業場所	校内・普通教室	前•後期	後期
企業連携科目	実務経験		のある教員等による	授業科目	0

1. 授業の到達目的と概要

◆到達目標 広告デザイン制作習得

写真撮影基礎習得

前期修了作品:簡易パンフレット

◆概要 一冊の簡易パンフレット制作を通して、広告制作の流れを学びます。

表紙グラフィック、A4・2/3・1/3広告、目次、自由レイアウト、地図作成、段組みレイアウト、写真素材撮影など、DTP広告制作で必要な技術を後期を通して習得します。

2. 授業内容(
第1週	授業説明・考察・ラフ制作
第2週	ラフ制作
第3週	ラフ制作
第4週	デザイン制作
第5週	デザイン制作
第6週	デザイン制作
第7週	写真撮影基礎
第8週	外部講師写真撮影デザイン制作
第9週	外部講師写真撮影デザイン制作
第10週	外部講師写真撮影デザイン制作
第11週	外部講師写真撮影デザイン制作
第12週	デザイン制作
第13週	デザイン制作

第14週	デザイン制作
第15週	デザイン制作
第16週	デザイン制作
第17週	デザイン制作
第18週	デザイン制作

- ・広告制作に関する素材準備など事前に個人的に素材を用意する必要がある。
- ・広告制作に関する費用は各自負担となる。
- ・アイディア出しや宿題などが発生するため授業時間外に課題を行う必要がある。

4. 使用教材 (テキスト等)

[学校側で用意するもの]

・パンフレット用紙 ・カメラ等撮影機材

5. 単位認定評価方法

評価基準:相対評価

制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35%

6. その他

デザイン事務所でざいんと代表 広告制作の実務経験より現場で実際行われる作成手法を通して広告デザインを学習する。

学科 <専攻>	クリエイトデザイン学科		担当者	溝口	
科目名	DTPデザイン演習		必修•選択	必修	
単位数	2単位	授業形態	演習	年次	1
総授業数(予定)	34コマ	授業場所	校内・普通教室	前•後期	後期
企業連携科目		実務経験	のある教員等による	授業科目	0

1. 授業の到達目的と概要

◆到達目標 年賀状デザインでは「比喩表現」と「イラスト表現」を、デザイン基礎ではDTPデザインの基礎を、メニューデザインではDTPデザインの実技を、地元ポスターでは「知る」「調べる」「表現する」のデザイン考案・表現の基礎を実践し習得を目指します。前期修了作品:年賀状・メニューデザイン・地元ポスター

◆概要 後期からは前期で学んだ基礎をベースに、パソコンを用いて実習形式で課題制作を行います。 各課題では「着想」「発案」「実技」の過程を実践的に学び、実社会で役立つ技術と、クリエイティブな 着想・発想の基礎を学びます。

	カルト・コン
2. 授業内容(
第1週	年賀状デザイン
第2週	年賀状デザイン
第3週	年賀状デザイン
第4週	年賀状デザイン デザイン基礎
第5週	デザイン基礎
第6週	メニューデザイン
第7週	メニューデザイン
第8週	メニューデザイン
第9週	メニューデザイン
第10週	メニューデザイン
第11週	メニューデザイン
第12週	メニューデザイン
第13週	メニューデザイン

第14週	地元ポスター
第15週	地元ポスター
第16週	地元ポスター
第17週	地元ポスター
第18週	地元ポスター出力・パネル貼り

- ・年賀状用素材・地元ポスター素材準備など事前に個人的に素材を用意する必要がある。
- ・年賀状制作・地元ポスター制作に関する費用は各自負担となる。
- ・アイディア出しや宿題などが発生するため授業時間外に課題を行う必要がある。

4. 使用教材(テキスト等)

[学校側で用意するもの]

・パンフレット用紙 ・カメラ等撮影機材

5. 単位認定評価方法

評価基準:相対評価

制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35%

6. その他

デザイン事務所でざいんと代表 広告制作の実務経験より現場で実際行われる作成手法を通してポスター等のデザインを学習する。

学科 <専攻>	クリエイトデザイン学科		担当者	溝口	
科目名	Webサイトデザイン1		必修•選択	必修	
単位数	2単位	授業形態	演習	年次	1
総授業数(予定)	34コマ	授業場所	校内・普通教室	前•後期	後期
企業連携科目		実務経験のある教員等による授業科目			0

1. 授業の到達目的と概要

- ◆到達目標 Webサイトの組立からコーディング、公開まで一連の流れを習得した後、ポートフォリオサイトを制作して就職活動に役立てる。
- ◆概要 前期で学んだ基礎をベースに、パソコンを用いて実習形式で課題制作を行います。 各課題では「デザイン」「コーディング」「オリジナルデザイン」の過程を実践的に学び、実社会で役立 つ技術を学びます。

2. 授業内容(
第1週	Webサイトデザイン
第2週	Webサイトデザイン
第3週	Webサイトデザイン
第4週	Webサイトデザイン
第5週	Webサイトコーディング (Sass)
第6週	Webサイトコーディング (Sass)
第7週	Webサイトコーディング (Sass)
第8週	Webサイトコーディング (Sass)
第9週	JQuery 公開手順
第10週	ポートフォリオサイト設計
第11週	ポートフォリオサイトデザイン
第12週	ポートフォリオサイトデザイン
第13週	ポートフォリオサイトデザイン

第14週	ポートフォリオサイトコーディング
第15週	ポートフォリオサイトコーディング
第16週	ポートフォリオサイトコーディング
第17週	ポートフォリオサイトコーディング
第18週	ポートフォリオサイトコーディング 公開

- ・ポートフォリオサイトについては冬季休暇中に制作を進めること。
- ・ポートフォリオサイト制作に関する費用は各自負担となる。

4. 使用教材(テキスト等)

[学校側で用意するもの]

・レンタルサーバー (卒業時に内容は削除します)

[個人で用意するもの]

・ノートパソコン

5. 単位認定評価方法

評価基準:相対評価

制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35%

6. その他

デザイン事務所でざいんと代表 WEB制作の実務経験より現場で実際行われる作成手法を通してWEBの制作方法を学習する。

学科 <専攻>	クリエイトデザイン学科		担当者	栗田	
科目名	修了制作		必修•選択	必修	
単位数	2単位	授業形態	演習	年次	1
総授業数(予定)	34コマ	授業場所	校内・普通教室	前•後期	後期
企業連携科目		実務経験のある教員等による授業科目			

1. 授業の到達目的と概要

◆到達目標 1年間学んだ技術や知識を集結した修了制作展に向けた企画と制作

◆概要 修了制作展で展示するための一人1研究制作。研究を通し、規則性や展開方法・販売方法などを 学習しデザインに活かす。 また12月からは蜂蜜ラベルデザインの制作にあたる

よに「2月からは韓国ノベル)リインの前手にのたる

2. 授業内容	(週単位で記入)
第1週	一人1研究企画・制作
第2週	一人1研究企画・制作
第3週	一人1研究企画・制作
第4週	一人1研究企画・制作
第5週	一人1研究企画・制作
第6週	一人1研究企画・制作
第7週	一人1研究企画・制作
第8週	一人1研究企画・制作
第9週	一人1研究企画・制作
第10週	はちみつラベル企業説明会
第11週	はちみつラベル企画制作
第12週	はちみつラベル企画制作
第13週	はちみつラベル企画制作

第14週	ラベル中間発表会
第15週	ラベル制作
第16週	ラベル制作
第17週	ラベル制作
第18週	修了制作展準備·展示

一人1研究の展示自体は2月だが、中間試験の時期に一旦提出とする。成績にも反映する。

4. 使用教材 (テキスト等)

特になし

5. 単位認定評価方法

評価基準:相対評価

制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35%

6. その他

専門学校未来	ビジネス	カレッジ	シラバス

学科コード

学科 <専攻>	全学科		担当者	各クラス担任	
科目名	総合演習 1		必修•選択	選択必修	
単位数	1単位	授業形態	講義・演習	年次	1
総授業数(予定)	20コマ	授業場所	教室・各実習室	前•後期	前後期
企業連携科目		実務経験のある教員等による授業科目			

1. 授業の到達目的と概要

◆到達目標 一

一般教養や専門学習など社会で役立つ知識や技術を学ぶ。また、特別活動として、学校生活ルールやクラス、学校行事を通して協調性や計画性を学ぶ。

◆概要

クラス担任の指導によりホームルーム活動を行います。

2. 授業内容 (週単位で記入)

第1週

~ 第38週 一般教養や学科別の専門知識技術の学習 学生の手引き、学生生活ルールの確認 クラス、学校行事及び計画 等

3. 履修上の注意

出席時間数等は授業内で指示します。

4. 使用教材 (テキスト等)

学生の手引き等

5. 単位認定評価方法

評価基準:絶対評価

出席時間、取り組みにより評価

6. その他

学科コード

学科 <專攻>	クリエイトデザイン学科		担当者	小林千尋	
科目名	キャリアプラニング3		必修•選択	必修	
単位数	1 単位	授業形態	講義	年次	2年
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	MIT普通教室	前•後期	前期
企業連携科目		実務経験のある教員等による授業科目			

1. 授業の到達目的と概要

- ◆到達目標 本学入学の最大の目的である「希望する業種・職種で職に就く」こと、その後必要となる労働法と社会保険の基礎を学ぶ。
- ◆概要 1年次で学習したことを再度確認する。履歴書の改正、電話応対・面接の再練習、企業情報の提供など、目標到達のためのサポートを行う。労働条件等などに加えて、今注目の働き方についても考える。

2. 授業内容(
第1週	キャリアプラニング1、キャリアプラニング2を踏まえて、就活方法、企業・求人情報の確認
第2週	電話応対、面接を再確認、就活の注意事項、ブラック企業
第3週	学生の就活とそのサポート 求人票の見方を再度確認
第4週	学生の就活とそのサポート「働くこと」と労働者とは
第5週	学生の就活とそのサポート 労働者を保護する法律と労務契約
第6週	学生の就活とそのサポート 書面による労働条件
第7週	学生の就活とそのサポート 内定と内定取消
第8週	学生の就活とそのサポート 試用期間と就業規則
第9週	中間テスト 労働法と社会保険
第10週	学生の就活とそのサポート 労働時間、時間外労働、割増賃金
第11週	学生の就活とそのサポート 休日・休暇、有給休暇、休憩時間
第12週	学生の就活とそのサポート 賃金、最低賃金、退職金、賞与
第13週	学生の就活とそのサポート 社会保険①

第14週	学生と就活とそのサポート 社会保険②
第15週	学生の就活とそのサポート 産前産後休業、育児休業、介護休業
第16週	学生の就活とそのサポート 解雇、退職
第17週	期末テスト(課題)

筆記用具を持参

4. 使用教材 (テキスト等)

就活手帳、プリント教材

5. 単位認定評価方法

評価基準:絶対評価OR相対評価

絶対評価で中間・期末テスト(課題)、授業態度、出席状況

6. その他

学科 <専攻>	クリエイトデザイン学科		担当者	清水	
科目名	情報リテラシー3		必修・選択(注記)	選択必修	
単位数	1単位	授業形態	演習	年次	2
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	普通教室	前•後期	前期
企業連携科目	実務経騎		のある教員等による	授業科目	

1. 授業の到達目的と概要

- ◆到達目標 10月受験:プレゼンテーション作成検定試験2級
- ◆概要 パワーポイントの基本的な使い方と、プレゼンの仕方を学ぶ。パワーポイントの基本操作の習得後は、プレゼンテーション検定2級を目標に受験対策を行い合格を目指す。1級合格を目標にすることもできるよう、授業内で解答方法の解説を行う。

2. 授業内容(週単位で記入)
第1週	オリエンテーション プレゼンテーションの基礎知識・パワーポイントの基本操作
第2週	パワーポイントの基本操作 課題1
第3週	課題1
第4週	プレゼンテーション作成検定試験 2級解答方法解説 2級練習問題、模擬問題解答
第5週	2級模擬問題解答
第6週	2級模擬問題解答
第7週	2級模擬問題解答
第8週	中間試験
第9週	プレゼンテーション作成検定試験 1級解答方法解説
第10週	1級練習問題、模擬問題解答
第11週	1級模擬問題解答
第12週	1級模擬問題解答
第13週	各受験級問題解答

第14週	各受験級問題解答
第15週	各受験級問題解答
第16週	各受験級問題解答
第17週	期末試験

検定対策として、各時間2間以上解答し提出する。授業内に終わらなかった場合は期限までに仕上げて提出 すること。未提出の場合は、単位不認定とする事がある。

4. 使用教材 (テキスト等)

パソコン

プリント配布 (検定問題解答方法、模擬問題)

5. 単位認定評価方法

評価基準:絶対評価

授業態度20%、中間・期末試験30%、検定合格30%、課題20%

ただし、受験級、課題未提出や出席状況に応じて評価は変動する。

6. その他

専門学校未来ビジネスカレッジ シラバス

学科コード C2

学科 <専攻>	クリエイトデザイン学科		担当者	堀内 貴彦	
科目名	造形実習A 1		必修・選択	選択必修	
単位数	1単位	授業形態	実習	年次	2年次
総授業数 (予定)	17コマ	授業場所	校内・普通教室	前·後期	前期
企業連携科目		実務経験の	のある教員等による	 る授業科目	

1. 授業の到達目的と概要

◆到達目標 手に触れられる素材をもとに、指定されたデザインに基づいて正確に造形できる力を つける。

カッター、はさみ、をはじめ各種工具の使用方法を学び、安全に操作できる技術と素材に応じて工具の使い分けができる能力を身につけることを目標とする。

◆概要 ステンドグラス (ガラス)、木材や加工等を課題として、指定のデザインどおりの造 形物を制作する。

2.	授業内容	(週単位で記入)
	第1週	木材加工 (題材はイス) イスのデザインを知ろう
	第2週	デザイナーチェアーのミニチュア作成
	第3週	
	第4週	イスのデザイン①
	第5週	テーマを設定し各自イスのデザインをしてみよう
	第6週	
	第7週	イスのデザイン②模型作成
	第8週	
	第9週	
	第10週	ガラス加工 (題材はステンドグラス (ガラス)) ステンドグラス制作
	第11週	ガラス加工練習
	第12週	ステンドグラス製作 ·デザイン 加工
	第13週	研磨、コパホイル、ハンダ等
	第14週	
	第15週	
	第16週	
	第17週	

3. 履修上の注意

工具の他、塗料や接着剤なども利用する。また、切り屑やハンダごてなどで服装を破損する可能性もある作業を行う。このため、工作に適した服装や髪形で授業に臨むこと。

4. 使用教材(テキスト等)

テキストはなし。定規や鉛筆類は必要。

5. 単位認定評価方法

評価基準:絶対評価、出席不足ならびに課題未提出は単位不認定。

評価は課題評価による。

6. その他 授業内でできない作業等は放課後や家庭で進めること。

学科 <専攻>	クリエイトデザイン学科 グラフィック/コミック		担当者	溝口	
科目名	Webサイトデザイン	/2	必修•選択	必修	
単位数	1単位	授業形態	演習	年次	2
総授業数(予定)	54コマ	授業場所	校内・普通教室	前·後期	前期
企業連携科目		実務経験	のある教員等による	授業科目	0

1. 授業の到達目的と概要

◆到達目標 1年時より更に広くWebに関する知識・技術を学習する科目。

JQueryの扱いやサーバーへのアクセス、CMSの設定やCMSでのサイト制作などを学びます。

◆概要 1)1年次に制作した各自のサイトにJQueryを用いてスライドなどを作成し、レスポンシブ化して、レンタルサーバーにアップロードする。 2)CMS(コンテンツマネジメントシステム)を用いてWebサイトを制作。

2. 授業内容(週単位で記入)
第1週	JQuery
第2週	レスポンシブウェブデザイン
第3週	レスポンシブウェブデザイン
第4週	レスポンシブウェブデザイン
第5週	サーバーアップロード Wordpress
第6週	サーバー接続 Wordpress
第7週	Wordpress
第8週	Wordpress
第9週	Wordpress
第10週	Wordpress
第11週	Wordpress
第12週	Wordpress
第13週	Wordpress

】 第14週	Wordpress
第15週	Wordpress
第16週	Wordpress
第17週	Wordpress

・課題制作の表現に必要となる資材は各自負担となる。

4. 使用教材 (テキスト等)

Mac、1年時に使用したHTML+CSSのデータを使用

5. 単位認定評価方法

評価基準:相対評価

制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35%

6. その他

デザイン事務所でざいんと代表 WEB制作の実務経験より現場で実際行われる作成手法を通して高度なWEBの制作方法を学習する。

学科 <専攻>	クリエイトデザイン学科		担当者	清水	
科目名	業務演習 2		必修・選択(注記)	選択必修	
単位数	1単位	授業形態	演習	年次	2
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	普通教室	前•後期	前期
企業連携科目		実務経験	のある教員等による	授業科目	

1. 授業の到達目的と概要

◆到達目標 日本情報処理検定協会主催の各種検定の上位級取得、illustrator・photoshopクリエイター能力認 定試験エキスパート取得等、各自目標を設定し検定対策に取り組む

◆概要就職後に求められるスキルの向上のため、各自で目標を設定し検定対策・受験を行う

2. 授業内容(週単位で記入)
第1週	目標検定設定
第2週	検定対策
第3週	検定対策
第4週	検定対策
第5週	検定対策
第6週	検定対策
第7週	検定対策
第8週	検定対策
第9週	期末試験(検定受験)

3. 履修上の注意

個々に設定した目標達成のためにしっかりと取り組むこと。各時間活動報告書を提出する。未提出の場合は、単位不認定とする事がある。

4. 使用教材(テキスト等)

パソコン

プリント配布 (検定問題解答方法、模擬問題)

5. 単位認定評価方法

評価基準:絶対評価

授業態度20%、中間・期末試験30%、検定合格30%、課題20%

ただし、受験級、課題未提出や出席状況に応じて評価は変動する。

6. その他

学科 <専攻>	クリエイトデザイン学科		担当者	清水	
科目名	POP技法		必修・選択(注記)	選択必修	
単位数	1単位	授業形態	演習	年次	2
総授業数(予定)	17コマ 授業場所		普通教室	前•後期	前期
企業連携科目		実務経験	のある教員等による	授業科目	

1. 授業の到達目的と概要

- ◆到達目標 POPの目的・役割・種類を理解し、どのようなPOPが購買意欲に働きかけるか、売り上げを伸ばす かをおさえ、それぞれの商品に最適なPOPを作ることができるようになる。
- ◆概要 POPとはなにか、売り上げが上がるPOPとはどういうものかを学習し、実例を交えながらPOPの作り 方を学ぶ。実際に書籍や雑貨等のPOPを制作を行う。

2. 授業内容(
第1週	POPの目的・役割(プライスカードとの違い)・種類
第2週	POPの基本
第3週	POPの基本
第4週	POPのキャッチコピーと説明文の作り方
第5週	POPのキャッチコピーと説明文の作り方
第6週	POPの道具とアイテム
第7週	POP制作1(中間課題)
第8週	POP制作1(中間課題)
第9週	POPのテクニック(装飾・伝え方)
第10週	POPのテクニック(装飾・伝え方)
第11週	文字の書き方
第12週	POPのイラスト・写真
第13週	POP制作2

第14週	POP制作2
第15週	POP制作3(期末課題)
第16週	POP制作3(期末課題)
第17週	POP制作3(期末課題)

POP制作に使用する基本的な文房具類は学校で用意するが、課題等で独自に用意する材料は実費とする。 課題未提出の場合は、単位不認定となる場合がる。

4. 使用教材(テキスト等)

プリント類

5. 単位認定評価方法

評価基準:絶対評価

授業態度30%、中間・期末課題50%、課題20%

ただし、課題未提出や出席状況に応じて評価は変動する。

6. その他

学科 <専攻>	クリエイトデザイン学科 グラフィック		担当者	栗田/溝口	
科目名	メディアデザイン		必修•選択	必修	
単位数	3単位	授業形態	演習	年次	2
総授業数(予定)	51コマ	授業場所	306	前•後期	前期
企業連携科目	なし	実務経験	のある教員等による	授業科目	

1. 授業の到達目的と概要

◆到達目標 商品をPRするためのチラシ・広告制作に加え、実際に商品価値を高めるためのパッケージデザイン を検証・考案し、簡易なパッケージであれば制作できるようになるまで学習する。なお、各種コンペティ ションへの参加を検討している。

◆概要 毎週木曜日のパッケージデザインは、溝口先生よりデザインの方法を学び、他2コマはパッケージデザインの動向、実際の化粧箱の仕組みなどを学ぶ。

2. 授業内容	(週単位で記入)
第1週	パッケージデザインの種類と要素・技術 市場のパッケージデザインを学ぶ
第2週	独自ブランドパッケージ 箱作り・座学:パッケージデザインの教科書:基礎編
第3週	独自ブランドパッケージ 箱作り・座学:パッケージデザインの教科書:基礎編
第4週	独自ブランドパッケージ 箱作り・座学:パッケージデザインの教科書:基礎編
第5週	独自ブランドパッケージ 箱作り・座学:パッケージデザインの教科書:基礎編
第6週	独自ブランドパッケージ 箱作り・座学:パッケージデザインの教科書:基礎編
第7週	独自ブランドパッケージ 箱作り・座学:パッケージデザインの教科書:基礎編
第8週	独自ブランドパッケージ 箱作り・座学:パッケージデザインの教科書:基礎編
第9週	独自ブランドパッケージ 箱作り・座学:パッケージデザインの教科書:基礎編
第10週	信州パッケージ考案
第11週	信州パッケージ
第12週	信州パッケージ
第13週	信州パッケージ

 第14週 	信州パッケージ
第15週	富山パッケージデザインコンペ
第16週	富山パッケージデザインコンペ
第17週	富山パッケージデザインコンペ

テキストを用いた座学は小テストなどを実施するので、配布プリントなどの管理を徹底すること。 なお、毎時間1つのパッケージデザイン組み立てを実習する。

4. 使用教材 (テキスト等)

パッケージデザインの教科書第3版を配布。主には講師が配布するレジュメを確認。

リサーチなどが発生するのでMacなどを持参すること

5. 単位認定評価方法

評価基準:相対評価

制作物提出およびテストに関する評価70%、遅刻欠席に関する評価20%、授業姿勢に関する評価10%

6. その他

第12週

第13週

学科コード C2

専門学校未来ビ	゙ジネスカレッジ シ	ンラバス		学科コード	C2			
学科 <専攻>	クリエイトデザイ コミックイラスト		担当者	森 未知子				
科目名	イラストレーショ	ン2	必修∙選択	必修				
単位数	3単位	授業形態	演習	年次	2			
総授業数(予定)	51コマ	授業場所	校内・普通教室	前•後期	前期			
企業連携科目		実務経験	のある教員等による	授業科目	0			
	1. 授業の到達目的と概要							
●到達目標	ションの制作を課題で幅広く表現し完成	とし、初回に個別目 する力を身に着ける	及び応用力の向上を標を設定し、以降そう。最終的にはそれる ル作品集の入稿など	れぞれの課題に向け だれの作品発表(イラ	けて人物から背景ま			
◆概要	ク制作とイラストレー コマ漫画の制作から	-ション制作に分かれ oオリジナル8P漫画	初回はクロッキーを 1て個別に課題に取 の制作へと段階的に 表現力の向上へと	り組んでいく。コミック 取り組む。イラストに	クは指定に沿った4			
2. 授業内容()	周単位で記入)							
第1週	シラバス説明・個別 模写	目標設定/クロッキ	一(以降毎週継続)					
第2週	模写/提出							
第3週	コミック:ビジネスマイラストレーション:		-の制作(人物)					
第4週	コミック:ビジネスマイラストレーション:		-の制作(人物)					
第5週	コミック:ビジネスマイラストレーション:		-の制作(人物)					
第6週	コミック:ビジネスマ· イラストレーション:		〜の制作(建物・シンフ	ボル・風景等)				
第7週	コミック:ビジネスマイラストレーション:		への制作(建物・シン)	ボル・風景等)				
第8週	コミック:ビジネスマイラストレーション:		∕提出 〜の制作(建物・シン≀	ドル・風景等)/提出	1			
第9週	コミック:お題に沿っ イラストレーション:		ーもしくは絵本制作					
第10週	コミック:お題に沿っ イラストレーション:		ーもしくは絵本制作					
第11週	コミック:お題に沿っ イラストレーション:		ーもしくは絵本制作					
筆12 调	コミック:お題に沿っ	た8P漫画制作 と題に <u>ツった</u> タブロー	+」//+					

イラストレーション:お題に沿ったタブローもしくは絵本制作

イラストレーション:お題に沿ったタブローもしくは絵本制作

コミック:お題に沿った8P漫画制作

第14週	コミック:8P漫画提出/夏休み中課題(オリジナル8P漫画)ラフ イラストレーション:タブローの提出/夏休み中課題(オリジナル作品集)ラフもしくは絵本制作
第15週	コミック:オリジナル8P漫画制作 イラストレーション:オリジナル作品集制作もしくは絵本制作
第16週	コミック:オリジナル8P漫画制作 イラストレーション:オリジナル作品集制作もしくは絵本制作
第17週	コミック:オリジナル8P漫画制作/提出・入稿 イラストレーション:オリジナル作品集制作もしくは絵本制作/提出・入稿

1年次に習得した技術・知識をさらに深めいかに応用力を伸ばせるかが重要である。漫画・イラスト制作における基本的な技術力はの習得はもちろんのこと、データ入稿の際の管理や知識も必要となる。各自での研究・研鑽・知識の吸収等、積極的な姿勢を求める。

4. 使用教材(テキスト等)

配布教材:クロッキー帳・鉛筆

アナログ画材についてはその都度相談の上用意する。

5. 単位認定評価方法

評価基準:絶対評価

制作物提出及び課題に関する評価70%、遅刻欠席に関する評価15%、授業態度に関する評価15%

6. その他

フリーランスでイラストレーターとして活動中 作品制作の方法、またプロならでらの視点から評価を頂き作品制作をしている。

専門学校未来ビジネスカレッジ シラバス

学科コード C2

3111				L****	
学科 <専攻>	クリエイトデザイ グラフィック/コ		担当者	溝口	
科目名	ブランディング		必修•選択	必修	
単位数	3単位	授業形態	演習	年次	2
総授業数(予定)	51コマ	授業場所	306	前・後期	前期
企業連携科目		実務経験	のある教員等による	6授業科目	0
1. 授業の到達目					
◆到達目標 	•Indesignによる冊子	・冊子制作を通してデ ・デザインの方法を プリに応募し、入選	学ぶ。	方法の向上を図る。	
◆概要	もそれなりに作れる 惹き付ける表現やフ	時代になっています ^ブ ランド価値を高める	。そんな中必要とさ ためのアイディアで	のチラシやPOP制作 れているのが、人の す。この科目ではグ ・の成果物を各種コン	脳を刺激し興味を ラフィックデザイン
2. 授業内容()	周単位で記入)				
第1週	ロゴマークデザイン (仮想店舗・仮想ブラ	とは ランドの設定・ラフ制	作)		
第2週		ランドの設定・ラフ制	作)		
第3週	ロゴマークデザイン				
第4週	ロゴマークデザイン				
第5週	ロゴマークデザイン				
第6週	JAGDA学生グランプ	プリ			
第7週	JAGDA学生グランス				
第8週	JAGDA学生グランス	ຶ່ງ J			
第9週	JAGDA学生グランス	ຶ່ງ			
第10週	JAGDA学生グランス	プリ			
第11週	JAGDA学生グランス	ຶ່ງ			
第12週	JAGDA学生グランス				
第13週	JAGDA学生グランス				

第14週	Indesign
第15週	PONY制作
第16週	PONY制作
第17週	PONY制作
第18週	PONY制作

- •アイディア出しで授業外に課題を行う必要がある。
- ・コンペ作品制作課題にて表現に必要となる資材は各自負担となる。
- ・冊子制作の際の取材に関する費用は各自負担となる。

4. 使用教材(テキスト等)

[学校側で用意するもの]

- ・コンペ応募用台紙・各種外注出力・作品台紙用ケント紙・カメラ等撮影機材[個人で用意するもの]
- ・ノートパソコン・コンペ作品制作用資材・冊子制作に関する資材・取材費

5. 単位認定評価方法

評価基準:相対評価

制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35%

6. その他

|デザイン事務所でざいんと代表 作品制作の手法やプロの視点より作品の評価を頂き制作を行う。

学科 <専攻>	クリエイトデザイン学科 グラフィック/コミック		担当者	栗田	
科目名	プロジェクト演習1		必修•選択	必修	
単位数	3単位 授業形態		演習	年次	2
総授業数(予定)	51コマ	授業場所	校内・普通教室	前•後期	前期
企業連携科目	0	実務経験	のある教員等による	授業科目	

1. 授業の到達目的と概要

◆到達目標 企業連携で依頼された制作物の作成

Webクリエイター能力認定試験の対策と試験実施

- 2件の企業連携をこなし、より実践的な知識や技術を身に付ける ◆概要

	1) 就労支援B型事業所asoBe様からのチラシ・ポスター制作 2) 同上企業でのシルクスクリーン体験・Tシャツデザイン制作 3) 夏季展示用作品制作※藤原印刷での工場見学と印刷業務委託
2. 授業内容	(週単位で記入)
第1週	授業説明 チラシ・ポスターデザインのラフ考案
第2週	就労支援B型事業所asoBe様来校 依頼内容確認・説明会
第3週	チラシ・ポスターデザインのラフ確定
第4週	チラシ・ポスターデザインのラフ確定
第5週	チラシ・ポスターデザイン制作
第6週	チラシ・ポスターデザイン制作
第7週	チラシ・ポスターデザイン制作・企業へ提出
第8週	Tシャツデザイン テーマ「ぶどう・ワイン」
第9週	Tシャツデザイン テーマ「ぶどう・ワイン」/シルクスクリーン体験 チラシ・ポスター修正完了・納品
第10週	夏季展示会用作品制作
第11週	夏季展示会用作品制作
第12週	夏季展示会用作品制作
第13週	夏季展示会用作品制作
L	

 第14週 	夏季展示会用作品制作
第15週	夏季展示会用作品制作/展示会実施
第16週	Webクリエイター能力認定試験対策
第17週	Webクリエイター能力認定試験対策
第18週	Webクリエイター能力認定試験対策/試験実施

・企業連携では企業先へ訪問することもあるため、最低限のマナーなどに注意すること

4. 使用教材 (テキスト等)

Mac、Webクリエイター能力認定試験用テキスト※後日配布

5. 単位認定評価方法

評価基準:相対評価

制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35%

6. その他

学科 <専攻>	クリエイトデザイン学科 グラフィック/コミック		担当者	栗田他	
科目名	マルチメディア		必修•選択	必修	
単位数	8単位	授業形態	演習	年次	2
総授業数(予定)	120コマ	授業場所	校内・普通教室	前•後期	後期
企業連携科目		実務経験	のある教員等による	授業科目	

1. 授業の到達目的と概要

- ◆到達目標 2年間の集大成として、最終日の展示に向け制作を進める
- ◆概要 第6週までは他教科の補助的時間とする。公開日終了後より、溝口先生サポートのもと、今年度の テーマを決定し、企画書を制作する。企画が通った段階で12/1より制作開始となる。

2. 授業内容(注	週単位で記入)
第1週	他教科の補助時間 公開日に向けた企画・制作・運営
第2週	他教科の補助時間 公開日に向けた企画・制作・運営
第3週	他教科の補助時間 公開日に向けた企画・制作・運営
第4週	他教科の補助時間 公開日に向けた企画・制作・運営
第5週	他教科の補助時間 公開日に向けた企画・制作・運営
第6週	他教科の補助時間 公開日に向けた企画・制作・運営
第7週	卒業制作テーマぎめ
第8週	卒業制作企画書立案
第9週	卒業制作企画書審査・終了
第10週	卒業制作•製作開始
第11週	卒業制作•製作開始
第12週	卒業制作•製作開始
第13週	卒業制作·製作開始

第14週	卒業制作•製作開始
第15週	卒業制作•製作開始
第16週	卒業制作•製作開始
第17週	卒業制作•製作開始
第18週	2/26、27 井上百貨店にて展示会予定

制作に必要なものは各自購入する。レシートを持参すれば制作費用から返金する。

4. 使用教材(テキスト等)

Mac、その他各自で準備したもの

5. 単位認定評価方法

評価基準:相対評価

制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35%

6. その他

学科 <専攻>	クリエイトデザイン学科		担当者	清水	
科目名	業務演習 2		必修・選択(注記)	選択必修	
単位数	1単位 授業形態		演習	年次	2
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	普通教室	前•後期	前期
企業連携科目	実務経験		のある教員等による	授業科目	

1. 授業の到達目的と概要

◆到達目標 日本情報処理検定協会主催の各種検定の上位級取得、illustrator・photoshopクリエイター能力認 定試験エキスパート取得等、各自目標を設定し検定対策に取り組む

◆概要就職後に求められるスキルの向上のため、各自で目標を設定し検定対策・受験を行う

2. 授業内容(週単位で記入)
第1週	目標検定設定
第2週	検定対策
第3週	検定対策
第4週	検定対策
第5週	検定対策
第6週	検定対策
第7週	検定対策
第8週	検定対策
第9週	期末試験(検定受験)

3. 履修上の注意

個々に設定した目標達成のためにしっかりと取り組むこと。各時間活動報告書を提出する。未提出の場合は、単位不認定とする事がある。

4. 使用教材(テキスト等)

パソコン

プリント配布 (検定問題解答方法、模擬問題)

5. 単位認定評価方法

評価基準:絶対評価

授業態度20%、中間・期末試験30%、検定合格30%、課題20%

ただし、受験級、課題未提出や出席状況に応じて評価は変動する。

6. その他

学科 <専攻>	クリエイトデザイン学科 グラフィック/コミック		担当者	栗田	
科目名	POP技法		必修•選択	必修	
単位数	1単位 授業形態		演習	年次	2
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	校内・普通教室	前•後期	後期
企業連携科目	実務経騎		のある教員等による	授業科目	

1. 授業の到達目的と概要

- ◆到達目標 店舗などで実用できる商品POPの立体作品を制作し、卒業制作などで実際に制作する。
- ◆概要 前期のPOP技法を活かし、今期は立体POPとして戸棚や店舗天井などで展開できるようなものを制作する。 手始めにしかけ絵本の作りを研究し、実際に利用できるものを制作・展示する。

2. 授業内容 (週単位で記入) 立体POP研究 第1週 しかけ絵本のパーツ研究 第2週 しかけ絵本のパーツ作り1 第3週 しかけ絵本のパーツ作り2 第4週 しかけ絵本のパーツ作り2 第5週 店頭用POPパーツ作り 第6週 店頭用POPパーツ作り 第7週 店頭用POPパーツ作り 第8週 作品提出 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週

_					
第14週 第14週					
第15週					
第16週					
第17週					
第18週					
3. 履修上の注意					
特になし					
4. 使用教材(テキスト等)					
Mac	Mac				
	-4-34				
5. 単位認定評価方法					
評価基準:相対評価					
制作物提出およ	制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35%				
6. その他					
1					

専門学校未来ビジネスカレッジ シラバス

	r
学科コード	C2

学科 <専攻>	クリエイトデザイン学科		担当者	堀内 貴彦	
科目名	造形実習A2		必修・選択	選択必修	
単位数	1単位	授業形態	実習	年次	2年次
総授業数 (予定)	18コマ	授業場所	校内・普通教室	前·後期	後期
企業連携科目		実務経験のある教員等による授業科目			

1. 授業の到達目的と概要

◆到達目標 手に触れられる素材をもとに、自由なデザインで造形を行う。

必要に応じて自分で素材や加工方法を考え、構想を形にできる力をつけることを目標とする。

◆概要 金属を使った鋳造の造形。立体造形としてオリジナル作品制作(身の回りの素材を利 用して造形物を作る)

2. 授業内容	(週単位で記入)
第1週	鋳造 原型製作 型作成、鋳込み、仕上げ
第2週	
第3週	
第4週	
第5週	立体造形。 構想、材料集め、加工組立
第6週	
第7週	
第8週	
第9週	

3. 履修上の注意

工具の他、塗料や接着剤なども利用する。また、刃物や熱などで服装を破損する可能性もある作業を 行う。このため、工作に適した服装や髪形で授業に臨むこと。

4. 使用教材(テキスト等)

テキストはなし。定規や鉛筆類は必要。

5. 単位認定評価方法

評価基準:絶対評価、出席不足ならびに課題未提出は単位不認定。

評価は課題評価による。

6. その他

学科 <専攻>	クリエイトデザイン学科 グラフィック/コミック		担当者	栗田	
科目名	プロジェクト演習2		必修•選択	必修	
単位数	2単位	授業形態	演習	年次	2
総授業数(予定)	34コマ	授業場所	校内・普通教室	前•後期	後期
企業連携科目	0	実務経験のある教員等による授業科目			

1. 授業の到達目的と概要

- ◆到達目標 企業連携または他学科・学校イベントから依頼された制作物の作成
- ◆概要 1)2022年 寅年年賀状デザイン見本の案件を10月末まで実施
 - 2)学校公開日に向けたイベント準備
 - 3)飛び込みの企業連携依頼に応じる

2. 授業内容(過	遺単位で記入)
第1週	年賀状見本制作(~10/23)まで予定
第2週	年賀状見本制作(~10/23)まで予定
第3週	年賀状見本制作(~10/23)まで予定
第4週	年賀状見本制作(~10/23)まで予定
第5週	学校公開日イベント企画・制作・準備
第6週	学校公開日イベント企画・制作・準備
第7週	卒業制作練習課題 テーマ「空間」において各自企画書と制作物の試作品を制作・中間試験で提出
第8週	卒業制作練習課題 テーマ「空間」において各自企画書と制作物の試作品を制作・中間試験で提出
第9週	卒業制作練習課題 テーマ「空間」において各自企画書と制作物の試作品を制作・中間試験で提出
第10週	
第11週	
第12週	
第13週	

_					
第14週 第14週					
第15週					
第16週					
第17週					
第18週					
3. 履修上の注意					
特になし					
	4. 使用教材(テキスト等)				
Mac					
	-4-34				
5. 単位認定評価方法					
評価基準:相対評価					
制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35%					
6. その他					
1					

学科コード

学科 <専攻>	全学科		担当者	各クラス担任	
科目名	総合演習2		必修•選択	選択必修	
単位数	1単位	授業形態	講義・演習	年次	2
総授業数(予定)	20コマ	授業場所	教室・各実習室	前•後期	前後期
企業連携科目		実務経験のある教員等による授業科目			

1. 授業の到達目的と概要

◆到達目標

一般教養や専門学習など社会で役立つ知識や技術を学ぶ。また、特別活動として、学校生活ルー ルやクラス、学校行事を通して協調性や計画性を学ぶ。

◆概要

クラス担任の指導によりホームルーム活動を行います。

2. 授業内容 (週単位で記入)

第1週

一般教養や学科別の専門知識技術の学習 学生の手引き、学生生活ルールの確認

第38週

クラス、学校行事及び計画 等

3. 履修上の注意

出席時間数等は授業内で指示します。

4. 使用教材 (テキスト等)

学生の手引き等

5. 単位認定評価方法

評価基準:絶対評価

出席時間、取り組みにより評価

6. その他